

池田市伏尾台地区

「子育てに優しいまちづくり」の推進

池田市伏尾台地区では、「子育てに優しいまちづくり」を目指すまちづくりビジョン「伏尾台創生プラン 2020」が地域主体で作成され、プランに基づき、地域内の空家や旧小学校、廃校となった高校跡地を活かしたまちづくりの取組みが進んでいます。



【直近の取組状況】

地域再生マネージャー事業（ふるさと財団）を活用し、地域再生マネージャーのサポートを受けながら、まちづくりビジョンの「子育てにやさしいまち伏尾台」として創生するための事業が検討・実施されています。

■創生会議

地域の意見交換の場として情報発信や意見調整を実施。後継団体として、地域の有志からなる一般社団法人が設立予定。

■地域内交通部会

総務省のシェアリングエコノミー活用推進事業に採択され、平成 30 年 10 月より約 2 か月間、自家用車を活用した地域内交通の社会実験を実施。

■跡地活用部会

活動拠点となる旧伏尾台小学校の環境改善のためのワークショップを開催し、オープンテラスや厨房を整備。また、活用アイデア具体化のためのプレゼン大会やコミュニティカフェを実施。



【地域の特徴】

昭和 45 年から昭和 60 年にかけて丘陵地に開発された住宅団地で、平成 27 年には池田市初めての小中一貫校が開校されました。同年、廃校となった旧伏尾台小学校ではフリースクール活動が開始されました。隣接する細川地区は丘陵に囲まれ余野川が流れる洪積地であり、植木栽培が盛んです。

【地域の課題】

- 地域内人口が 2040 年には現在の約 6 割まで減少することが見込まれるなど、地域内の人口減少や高齢化が急速に進む「都市型過疎」ともいえる状況です。近隣センターでは空き店舗が目立つほか、高校の波高に伴い公共交通が減少しており、公共不動産や多様な教育環境を活かしたまちの魅力向上が求められています。
- 地域住民を始めとした公募メンバーによる「伏尾台創生会議 2020」での議論を通じ、「伏尾台創生プラン 2020」(H28 年 3 月)を策定し、市へ提言。その中に空家のリノベーションによる活用が提案されています。
- これを受けて、市では、平成 28 年度から市全体のまちづくり構想の策定や地方創生事業を実施しています。地域では、マンションの空き店舗を活用して子育て支援ルームや世代間交流のできるフリーサロンを併設した事務所の開設など地元協議会によるコミュニティ活動が盛んに行われています。

【関連する取組み】

- [池田のまち みんなまとめてテーマパーク構想](#)
- [伏尾台プラン 2020](#)
- [池田市空家等対策計画](#)
- [伏尾台で暮らす。](#)